

令和5年3月市議会定例会

消 防 局

議案説明資料 (当初予算分)

目 次

【予算案件】

- 1 令和5年度消防局所管予算(案)総括表 1頁
- 2 救急高度化整備事業について
(職員研修費) 2頁
- 3 日勤救急隊の創設事業について(新規)
(消防活動費) 3頁
- 4 消防団活性化事業について
(分団運営活動費) 4頁
- 5 消防車両等購入整備事業について
(消防車両等整備事業費) 5頁
- 6 消防活動用機械器具等維持管理事業について
(消防車両等整備事業費) 6頁
- 7 富山消防署南部出張所改築事業について
(消防施設整備事業費) 7～11頁
- 8 富山消防署北部出張所改築事業について(新規)
(消防施設整備事業費) 12頁
- 9 分団器具置場の改築事業について
(消防施設整備事業費) 13頁
- 10 継続費について 14頁

【その他の議決案件】

- 11 富山市と立山町との消防指令業務に係る事務の受託
に関する協議の件について 15、16頁

1 令和5年度 消防局所管予算(案)総括表

【一般会計】

(単位：千円、%)

| 区分 予算科目 (款・項・目) | 令和5年度 当初予算(案) A | 令和4年度 当初予算 B | 対前年度比較 | |
|-----------------------|-----------------------|--------------------|------------|------------|
| | | | 増減額 A-B | 増減率 A/B |
| 消防局 合計 | 4,801,843 | 4,991,497 | △189,654 | 96.2 |
| (款9) 消防費 | 4,801,843 | 4,991,497 | △189,654 | 96.2 |
| (項1) 消防費 | 4,801,843 | 4,991,497 | △189,654 | 96.2 |
| (目1) 常備消防費 | 3,853,840 | 3,801,923 | 51,917 | 101.4 |
| (目2) 非常備消防費 | 362,812 | 365,161 | △2,349 | 99.4 |
| (目3) 消防施設費 | 585,191 | 824,413 | △239,222 | 71.0 |

【職員研修費】

2 救急高度化整備事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 6,978千円

〔 財源内訳 一般財源 6,978千円 〕

(2) 事業目的

傷病者の救命効果の向上を目的とした救急高度化整備事業の一環として、救急救命士の養成を進めるもの。

(3) 事業内容

国が定める「消防力の整備指針」の基準を参考とし、救急自動車 1 台に救急救命士が常時 1 名以上乗車できるよう計画的に養成している。

今後とも市民の負託に応えるため、継続的に職員を救急救命士養成所へ約 6 ヶ月間派遣し、国家資格である救急救命士の資格を取得させるもの。

(4) 養成経過及び予定

| 年度 | R2 年度 | R3 年度 | R4 年度 | R5 年度 | R6 年度 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 養成人員 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 |

※ 令和 6 年度は計画数

【消防活動費】

3 日勤救急隊の創設事業について(新規)

[消防局警防課]

(1) 予算額 4,841千円

〔 財源内訳 一般財源 4,841千円 〕

(2) 事業目的

高齢化の進行等に伴い、今後も増え続けることが予想される救急需要に適切に対応し、また、子育て世代や介護を行っている職員等に、隔日勤務(24時間2交替制)以外の多様な働き方を提供するため、平日の日中に活動する「日勤救急隊」を創設するもの。

(3) 事業内容

出動件数が多い富山市中心市街地に「日勤救急隊」を1隊増隊するため、必要な資器材を整備するもの。

「日勤救急隊」の運用開始は資器材の整備完了後の7月頃を予定。

- ア. 自動体外式除細動器 1台
- イ. 携帯用吸引器 1台
- ウ. 血糖測定器 1台
- エ. 自動体外式除細動器架台 1台

【分団運営活動費】

4 消防団活性化事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 5,695千円

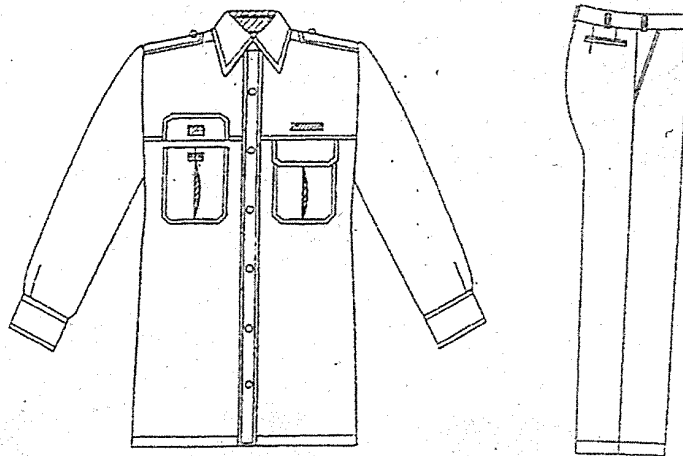
| | | |
|------|------|---------|
| 財源内訳 | 県補助金 | 1,000千円 |
| | 手数料 | 2,800千円 |
| | 一般財源 | 1,895千円 |

(2) 事業目的

平成20年度から平成22年度の3か年で整備した消防団員活動服の経年劣化が著しいため、消防団員の災害現場活動の充実と安全確保を図るため、消防団員活動服を更新するもの。

(3) 事業内容

5か年で消防団員活動服を全団員に整備。(5か年計画の2年目)



消防団員活動服

【消防車両等整備事業費】

5 消防車両等購入整備事業について

[消防局警防課]

(1) 予算額 193,457千円

| | | |
|------|------|-----------|
| 財源内訳 | 国庫補助 | 5,897千円 |
| | 市債 | 179,800千円 |
| | 一般財源 | 7,760千円 |



(2) 事業目的

長年の使用により老朽化している消防車両を更新整備するもの。

(3) 事業内容

- ア. 常備消防車両4台の更新整備
 - ・化学消防ポンプ自動車 1台
(富山北消防署)
 - ・高規格救急自動車 2台
(水橋消防署、大沢野消防署)
 - ・指揮車 1台
(呉羽消防署)
- イ. 非常備消防車両3台の更新整備
 - ・消防ポンプ自動車 3台
(月岡分団、岩瀬分団、室牧分団)

(参考図)

| 常備消防車両 | | | 非常備消防車両 |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| 化学消防ポンプ自動車 | 高規格救急自動車 | 指揮車 | 消防ポンプ自動車 |

【消防車両等整備事業費】

6 消防活動用機械器具等維持管理事業について

[消防局警防課]

(1) 予算額 45,000千円

〔 財源内訳 一般財源 45,000千円 〕

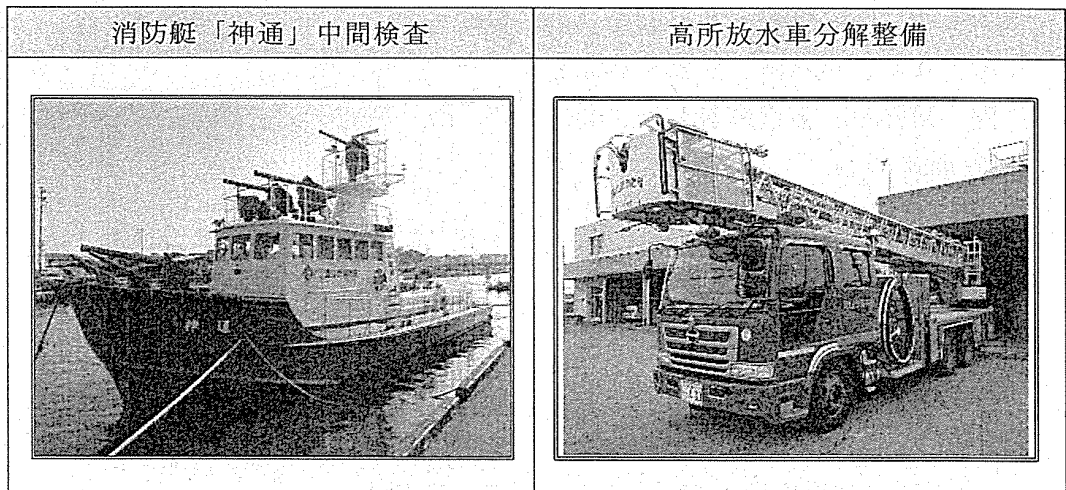
(2) 事業目的

船舶安全法に基づき消防艇「神通」の中間検査を受検するもの。また、高所放水車の分解整備を行い、使用時の安全性を維持するもの。

(3) 事業内容

消防艇「神通」（富山北消防署海上分遣所）の船体、機関、設備の点検整備を実施し、中間検査を受検する。また、高所放水車（富山北消防署和合出張所）の梯子装置、油圧機器の分解整備を実施する。

- ア. 消防艇「神通」中間検査 11,000千円
- イ. 高所放水車分解整備 34,000千円



【消防施設整備事業費】

7 富山消防署南部出張所改築事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 213,946千円


| | | |
|------|------|-----------|
| 財源内訳 | 市債 | 213,400千円 |
| | 一般財源 | 546千円 |

(2) 事業目的

富山消防署南部出張所及び富山方面団熊野分団器具置場は築44年が経過し（昭和53年建築）老朽化が著しく、昭和56年以前の庁舎であるため防災拠点としての耐震強度を有しないと推定されることから、改築し防災拠点としての機能の向上を図るもの。

(3) 事業内容

改築工事を行うもの。

| | |
|--|--|
| <p>【①南部出張所 建物概要】</p> <p>敷地面積:1,524.76㎡</p> <p>建物構造:鉄骨造2階建て</p> <p>建築面積:473.75㎡ 延べ面積:669.75㎡</p> <p>1階 車庫、事務室、資器材倉庫等</p> <p>2階 研修室、仮眠室等</p> <p>配置車両:3台</p> <p>【②熊野分団器具置場 建物概要】</p> <p>建物構造:鉄骨造2階建て</p> <p>建築面積:54.00㎡ 延べ面積:108.00㎡</p> <p>車庫(消防車両1台)、待機室、倉庫</p> | <p>付近見取図</p>  <p>富山消防署南部出張所 及び 富山方面団熊野分団器具置場 (悪王寺25番1)</p> |
|--|--|

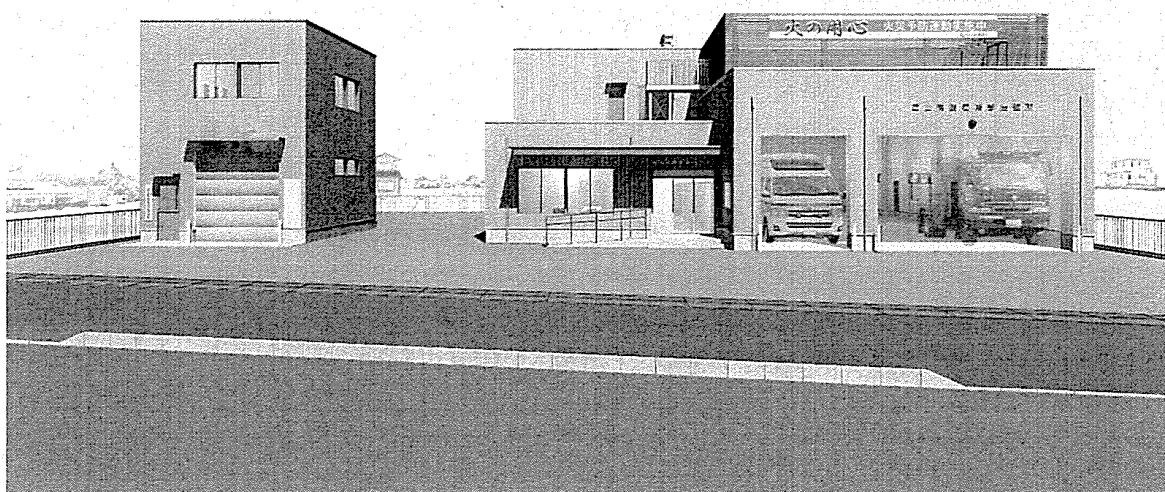
改築工事は令和4年度・5年度継続事業（契約額505,670千円）

| | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 令和4年度改築工事 | 302,379千円 | } 213,946千円 |
| 令和5年度改築工事 | 203,291千円 | |
| 〃 その他経費 | 10,655千円 | |

(4) 事業計画

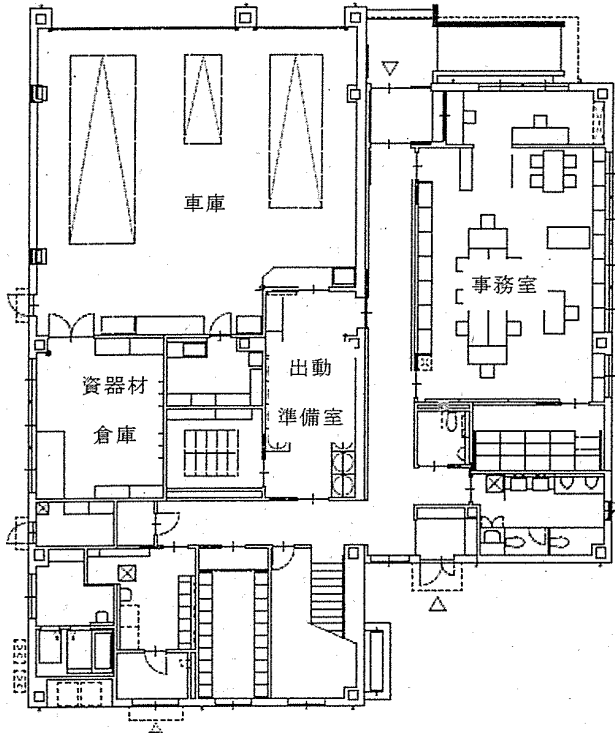
令和3年度 実施設計
令和4年度 } 改築工事、解体工事
令和5年度 }
(竣工は令和6年3月末を予定)

完成予想図 (北面)

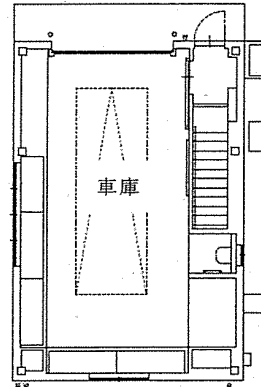


平面図

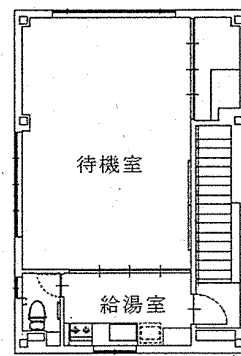
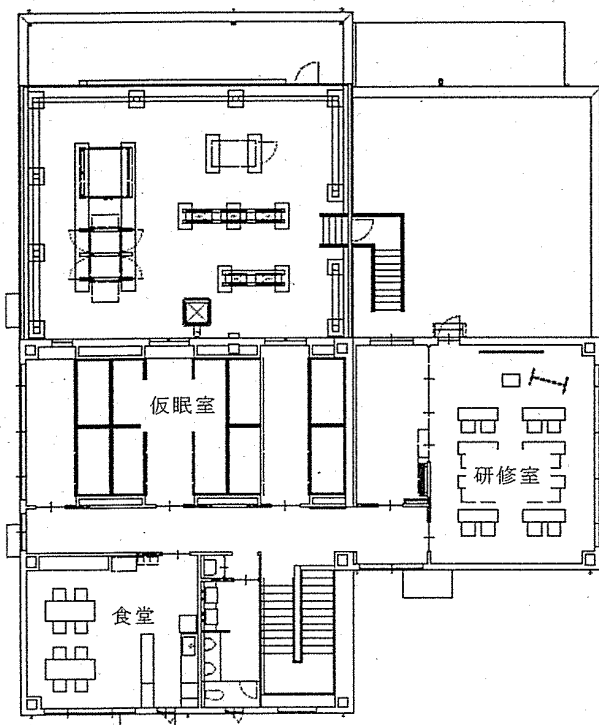
【南部出張所】



【熊野分団】

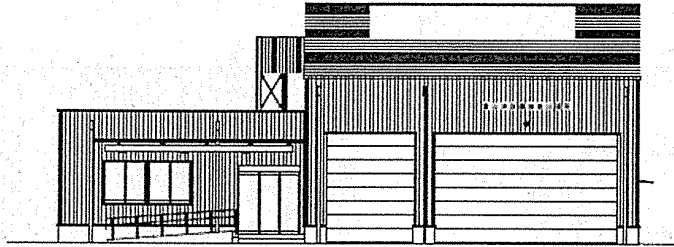


1階平面図

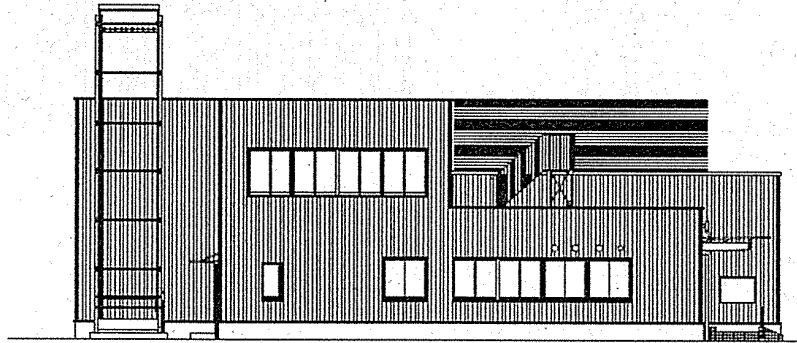


2階平面図

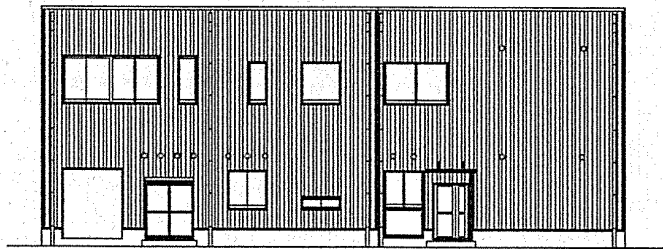
南部出張所
立面図



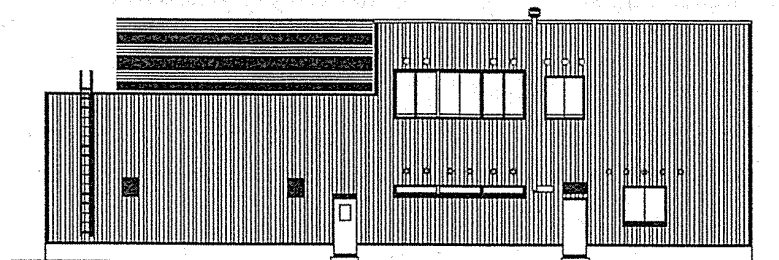
北側立面図



東側立面図

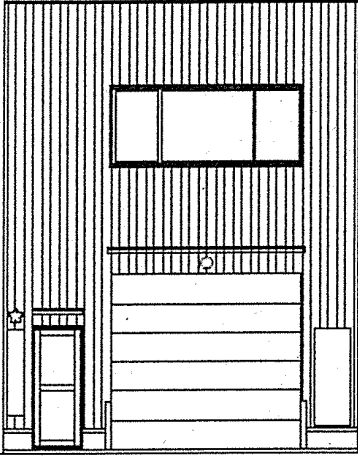


南側立面図

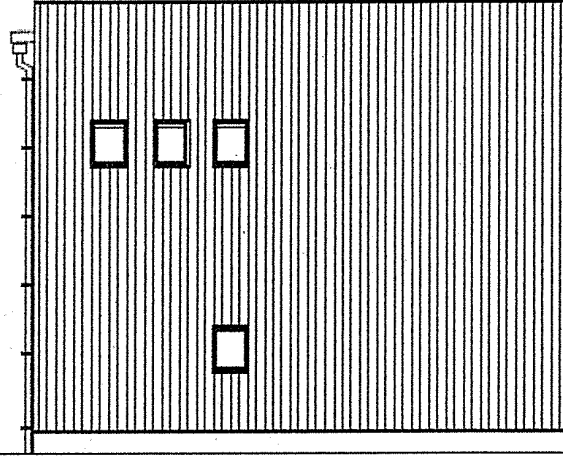


西側立面図

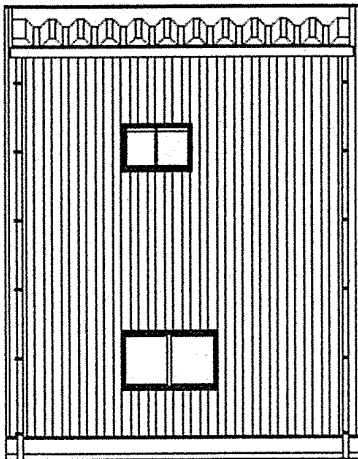
熊野分団
立面図



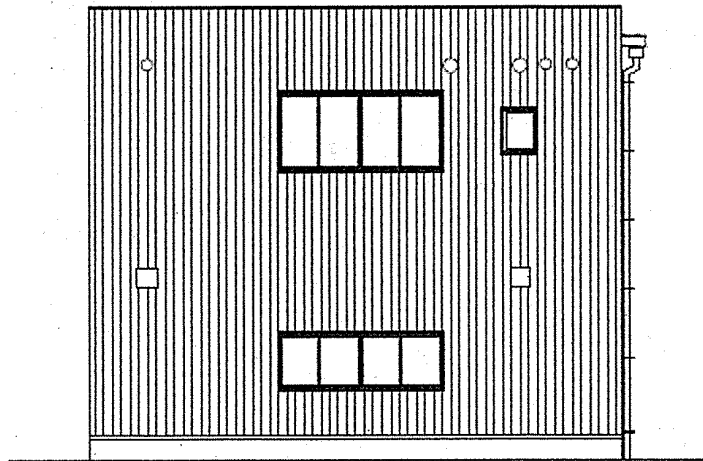
北側立面図



東側立面図



南側立面図



西側立面図

【消防施設整備事業費】

8 富山消防署北部出張所改築事業について(新規)

[消防局総務課]

(1) 予算額 2,900千円

財源内訳 一般財源 2,900千円

(2) 事業目的

富山消防署北部出張所は築42年が経過し(昭和55年建築)老朽化が著しく、昭和56年以前の庁舎であるため防災拠点としての耐震強度を有しないと推定されることから、改築し防災拠点としての機能の向上を図るもの。

(3) 事業内容

改築のための基本設計を行うもの。

| | |
|---|--|
| <p>【①北部出張所 現況建物概要】 敷地面積:1,846.21㎡ 建物構造:鉄筋コンクリート造2階建て 建築面積:284.27㎡ 延べ面積:384.33㎡ 1階 車庫、事務室、仮眠室等 2階 研修室、所長室等 配置車両:3台</p> <p>【②機工場 現況建物概要】 建物構造:鉄骨造平屋建て 建築面積:156.00㎡ 延べ面積:156.00㎡</p> <p>【③タイヤ倉庫 現況建物概要】 建物構造:ブロック造平屋建て 建築面積:33.52㎡ 延べ面積:33.52㎡</p> | <p>付近見取図</p> <p>富山消防署北部出張所 (上飯野28番2)</p> |
|---|--|

※事業計画

| | |
|---------|------------|
| 令和5年度 | 基本設計 |
| 令和6年度 | 実施設計(解体含む) |
| 令和7・8年度 | 改築工事、解体工事 |

【消防施設整備事業費】

9 分団器具置場の改築事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 53,215千円

| | | |
|------|------|----------|
| 財源内訳 | 市債 | 53,200千円 |
| | 一般財源 | 15千円 |

(2) 事業目的

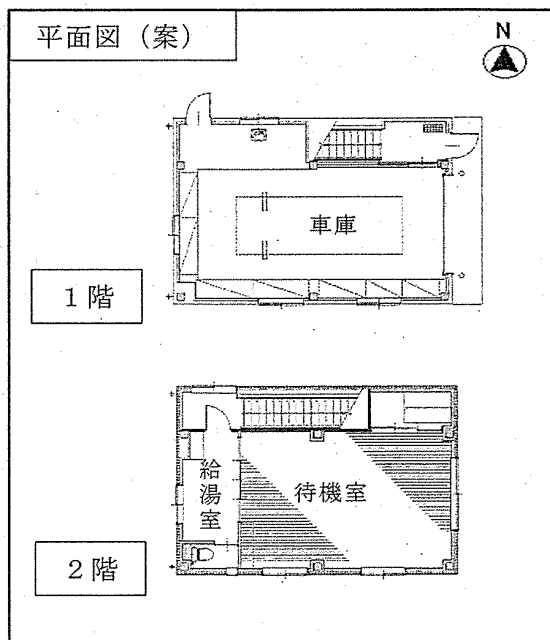
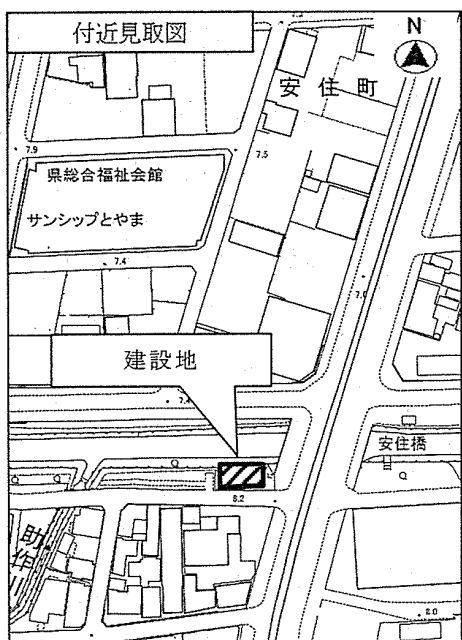
老朽化が進んでいる地域の防災拠点である分団器具置場を、計画的に建替え整備するもの。

(3) 事業内容

建設工事等 53,215千円

富山方面団総曲輪分団器具置場 (昭和45年6月建築(築52年))

- ・ 工損調査業務 5,000千円
- ・ 設計意図伝達業務(1年目) 715千円(2か年計 1,100千円)
- ・ 工事請負費(1年目) 35,000千円(2か年計 70,000千円)
- ・ 工事請負費(解体費) 12,500千円



【消防施設整備事業費】

10 継続費について

[消防局総務課]

(1) 第2表 継続費

(単位 千円)

| 款 | 項 | 事業名 | 総額 | 年度 | 年割額 |
|-------|-------|------------------------------|--------|-------|--------|
| 9 消防費 | 1 消防費 | 消防施設 整備事業費 (総曲輪分団器具置場) | 71,100 | 令和5年度 | 35,715 |
| | | | | 令和6年度 | 35,385 |

(2) 事業内容

分団器具置場の改築事業

(3) 内 訳

(単位 千円)

| | 令和5年度 | 令和6年度 |
|------------|--------|--------|
| ① 設計意図伝達業務 | 715 | 385 |
| ② 改築工事 | 35,000 | 35,000 |
| 合計 | 35,715 | 35,385 |

11 富山市と立山町との消防指令業務に係る事務の受託に 関する協議の件について

[消防局総務課]

(1) 目的

消防指令業務は、住民等からの通報を受け、機動的に消防活動を展開するため、消防部隊の出動管理をする業務であり、重要な消防業務のひとつであるが、その運用には、消防機関の規模に関わらず、相当の情報機器等の設備を整備する必要があるほか、この設備の常時の保守管理や定期的な更新が必要であり、さらに、その運営には専門的な知識を有する職員を一定数養成し、配置する必要もある。

このため、消防機関にとって指令業務の効率的な体制確保は重要な課題となっており、消防庁は、消防広域化の一環として、指令業務の共同運用など、消防機関相互の連携・協力の取り組みを推進している。

今般、立山町から富山市へ、事務委託方式で、消防指令業務の共同運用を実施するにあたり、「富山市と立山町との消防指令業務に係る事務の委託に関する規約」を定め、立山町から消防指令業務に係る事務を受託するもの。

(2) 内容

- ・地方自治法第 252 条の 14 第 1 項に基づき、消防指令業務に係る事務の管理・執行を、立山町から富山市へ委託
- ・立山町は、委託事務の管理・執行に係る経費の一部を負担
- ・共同運用する消防指令業務の実施場所は、富山市消防局 通信指令課
- ・共同運用の開始当初は、立山町から富山市へ職員を派遣

(3) 施行期日

令和 5 年 4 月 1 日

(4) これまでの経過

- 令和3年9月 富山市・立山町 消防指令業務共同運用
基本構想の策定
- 令和3年11月 富山市・立山町 消防指令業務共同運用に係る
基本事項に関する合意書の締結
- 令和3年11月 富山市・立山町 消防指令業務共同運用
推進協議会 第1回会議の開催
- 令和4年6月 富山市・立山町 消防指令業務
連携・協力実施計画の策定
- 令和5年2月 富山市・立山町 消防指令業務共同運用
推進協議会 第2回会議の開催